

千羽鶴におもいを込めて

多摩市立東寺方小学校 6年 ^{おおかわら みさ}大河原 美紗

私が広島に行って心に残ったことは3つあります。

1つ目はANT-Hiroshimaの人たちに会ったことです。私は広島はもっと硬い雰囲気だと思っていました。だけどANT-Hiroshimaの人たちや広島で会った人たちはみんな優しくてもう一回会いに行きたいなと思いました。私はANT-Hiroshimaの人たちが折り鶴の旅という絵本を海外の人たちに送るために作り直しているのがすごいと思いました。たくさんの人に読んでもらいたいです。

2つ目は被爆樹木を見たことです。今回広島で見た被爆樹木は4種類ありました。1種類目はアオギリです。平和記念館近くにアオギリは育っていてとても大きく立派でした。私たちが住んでいる多摩市にも被爆樹木があります。それは広島の被爆樹木のアオギリの種からできたアオギリ2世です。広島のアオギリの方が大きくて立派でした。2種類目はユーカリです。ユーカリの木はとても大きくて一番迫力があつたと思います。少し色が抜けている葉もありました。被爆して幹がスカスカで木の全体に水がいなくなってしまうからです。見ていて悲しい気持ちになりました。3種類目はマルバヤナギです。マルバヤナギは枝が重くて幹が割れていました。幹がさらに割れるのを防ぐためにひもで縛られていて私は苦しそうでかわいそうだなと思いました。4種類目はクロガネモチです。このクロガネモチは少しだけ爆心地に向かって傾いていました。被爆していない木なら木はまっすぐ伸びていたはずですが、このクロガネモチは被爆したせいで成長が17年間止まっていた。私は17年間成長が止まってから再び成長するのはとてもすごいことだと思いました。

心に残ったこと3つ目は、千羽鶴を原爆の子の像のところにおさめたことです。多摩市のみんなと私たち派遣員で千羽鶴を作りました。みんなで作った千羽鶴はとても綺麗な色で平和になりますようにという想いが込められています。今年が多摩市のみんなで、九つの千羽鶴を作成することができました。私はとても嬉しかったです。なぜならたくさんの鶴がないと千羽鶴を作ることができません。多摩市のたくさんの人たちが鶴を折ってくれたおかげだと思いました。

今回広島に行く前に私が折った鶴は、たったの5個と少ない数でした。だけど原爆の子の像のところに千羽鶴をおさめた時、私はもっと鶴を折ればよかったなと後悔しました。だから、一人で千羽折って千羽鶴を作成してみたいと思い作ってみることにしました。

広島から帰ってきた後すぐ、家族と旅行に行った時も鶴を折り続けました。その時、おじいちゃんやおばあちゃん、家族も一緒に鶴を折ってくれました。鶴を折るのを手伝ってくれてとても嬉しかったです。こうやって平和への想いが繋がっていくといいなと思いました。千羽鶴を完成させたら、自分で広島の原爆の子の像におさめにいきたいです。世界で続いている戦争がなくなり、少しでも平和になってほしいと思っています。